

11101非鉄金属精練・圧延業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	13 ～ 14	現場敷地内で、誘導上必要な部材を取りに行ったとき、通路上で足を踏み外し、転倒した。その際に腰を強打し、痛みがあった。	45	8	152	50 ～ 99 人
2	2018	2	15 ～ 16	工場内排水場で、乾燥機を使用して硝酸残渣を乾燥させていた。作業道具を乾燥機近くに落としたため拾い上げようとし、その際バランスを崩し乾燥機のチェーン近くに手をついて、乾燥機が稼働していたため軍手ごと回転して、チェーンに巻き込まれ負傷した。	28	7	121	10 ～ 29 人
3	2018	2	7 ～ 8	入室する際、引き戸を開けて入ろうとしたが、慌てており取っ手からまだ指が抜けていないのに、体が先に入り指が反り受傷した。	23	19	391	300 ～ 499 人
4	2018	3	10 ～ 11	工場内で、積んであったフレコンパックの上でリフトの爪に引っ掛ける作業中、リフト運転手がフレコンバックを引っ掛けて手を離れたと思っていたが、まだフレコンとリフトの爪の間に指が残っていて、そのままリフトがバックしたために左手中指上部五針縫合のケガをした。	62	7	222	50 ～ 99 人
5	2018	4	17 ～ 18	作業場にて160kg前後のドラム缶を移動させようとした際、押して移動させようとして力を入れたときに、伸ばしていた左足に激痛が走った。	50	19	611	100 ～ 299 人

									人
6	2018	4	14 ～ 15	当社工場で洋白材の品物に付着したサビや汚れを取るため、容器に入った硫酸と硝酸を混ぜた液につける作業をしていた際、煙を吸ってしまい受傷した。	78	12	514		1～ 9人
7	2018	4	21 ～ 22	アルミインゴットの鑄造機からインゴットを運ぶ、コンベアーの所でインゴットが、ずれて落下した。そのときエアホースを破損してないか確認のため手を近づけたところ、コンベアーに巻き込まれ負傷した。	38	7	224		—
8	2018	4	13 ～ 14	被災者は共同作業員5名、計6名で、キルンバケットエレベーターの補修作業に従事した。被災者は共同作業員内1名とピット内に入りバケットチェーン等の溶接作業に従事していたところ、突然COが発生してピット内の2名が吸い込んで倒れた。	45	12	519		50 ～ 99 人
9	2018	4	13 ～ 14	被災者は共同作業員5名、計6名で、キルンバケットエレベーターの補修作業に従事した。被災者は共同作業員内1名とピット内に入りバケットチェーン等の溶接作業に従事していたところ、突然COが発生してピット内の2名が吸い込んで倒れた。	38	12	519		50 ～ 99 人
10	2018	4	18 ～ 19	当社工場内溶解炉（11号炉）横でスタッキング作業中、リフト乗車中の作業員に被災者（作業指示者）が業務指示をするためにリフト後方に接近、エンジンを停止せずに会話した。話が終わったのでリフト作業員は被災者が避けていると思い、バックした際、被災者が右足甲をリフト後輪（左）で踏んでしまい、負傷した。	50	3	222		50 ～ 99 人
11	2018	4	15 ～ 16	両手でインゴットを持ち、炉の方へ行こうと配管の上に上がり、右足を上げ降りようとしたときに、左足が雨で滑りそうになり踏ん張ったら左膝に痛みを感じた。	34	19	419		50 ～ 99 人
12	2018	5	9 ～ 10	長さ50cm四方、厚さ6mmの鉄板を人力で裏返すために、ひざ丈まで持ち上げたとき、手が滑り、鉄板が滑り落ち、角の部分が安全靴に突き刺さり、右足親指の付け根部に突き刺さった。	61	4	521		1～ 9人

13	2018	5	16 ～ 17	製品の出荷場にてリフトで製品を2段積みで置き、リフトの爪を抜くときに上の製品がずれたため、リフトから降りて出直そうとしたら、リフトの爪に引っ掛かっていた製品が爪から外れて落下し、足の上に落ちた。	53	4	611	50 ～ 99 人
14	2018	6	13 ～ 14	工場内で、鉛の合金を手作業でパレットに移す際に手が滑って落とし、足に当たった。	42	4	521	10 ～ 29 人
15	2018	6	11 ～ 12	ドローベンチ機で銅管（直径16.5m、長さ4m、300kg）の引き抜き作業が終わり、ドローベンチから製品置場へ銅管を2人で転がしながら移動中に、左手中指が銅管と枕木の間挟まれ骨折した。	47	7	521	30 ～ 49 人
16	2018	6	14 ～ 15	製品納入先の鉄工所で、アルミニウム荷物（長さ3840mm、段ボール箱8個をPPバンドで結束したもの、200kg）をトラックから荷降ろしをしていた。荷台でPPバンドを持ち、ホイストの真下へ移動させたとき、PPバンドの樹脂フックが折れて、結束が解けた反動で荷台より落下し、コンクリート地面で全身を強く打った。	56	4	372	50 ～ 99 人
17	2018	7	7 ～ 8	職場近くの休憩所へ向かう途中、グレーチングの上を歩いて行った際に、右足の靴先がグレーチングに引っ掛かり、体勢を崩し転落した、その際、左足の足首をひねり、右足の親指先端を骨折した。	43	2	417	100 ～ 299 人
18	2018	7	9 ～ 10	工場内の作業場にてパレットに製品を積み上げている際、製品を持ち上げようとしたところ、肉離れとなった。	32	19	611	30 ～ 49 人
19	2018	8	23 ～	台車に254φのビレットの積み付け作業をしていたとき、1段目を積み、バールでビレットとビレットの間隔を空けようとしたとき、	49	3	521	10 ～

			24	ボールが外れ体勢を崩したため飛び降りたが、安全帯のワイヤーにブレーキがかかり右足が先に地面に着き負傷した。					29 人
20	2018	9	15 16	スクラップのステンレスパイプを、L字型の一端を高さ70cmの台に乗せ、クレーンで吊り上げアーク溶断作業中、切断されたステンレスパイプが台の上から安全靴上に転がり落ちて負傷した。	64	4	521		10 ～ 29 人
21	2018	9	15 16	スクラップのステンレスパイプを、L字型の一端を高さ70cmの台に乗せ、クレーンで吊り上げアーク溶断作業中、切断されたステンレスパイプが台の上から安全靴上に転がり落ちて負傷した。	64	4	521		10 ～ 29 人
22	2018	9	15 16	スクラップのステンレスパイプを、L字型の一端を高さ70cmの台に乗せ、クレーンで吊り上げアーク溶断作業中、切断されたステンレスパイプが台の上から安全靴上に転がり落ちて負傷した。	64	4	521		10 ～ 29 人
23	2018	9	15 16	スクラップのステンレスパイプを、L字型の一端を高さ70cmの台に乗せ、クレーンで吊り上げアーク溶断作業中、切断されたステンレスパイプが台の上から安全靴上に転がり落ちて負傷した。	64	4	521		10 ～ 29 人
24	2018	10	10 11	工場製造ラインで製管中、上下の平行ロールで異音が発生したため、安全柵を開けて確認していた。その際、不用意に材料コイルに触れてしまい、平行ロールにゴム手袋が巻き込まれて右手を負傷した。	24	7	159		50 ～ 99 人
25	2018	11	10 11	工場内の鉛板圧延部署で、圧延された鉛板を鉄製ボビンに巻き取る際、鉛板がずれたため左手で修正していたときに手首をひねった。左手をかばいながら作業を続けていたところ、右手小指と右腕に痛みが出た。	46	19	521		30 ～ 49 人
			11	休憩室で、個人ロッカーに私物を収納しようと椅子から立ち上がっ					100 ～

26	2018	11	～	たとき、机の脚に右足が引っ掛かり、転倒して右手首を出入口の柱	71	2	379	299
			12	にぶつけた。				人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。